

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名) 乳児の発達と保育 I	授業の種類 (講義) ・ 演習 ・ 実習)	授業担当者 河村 和代	当該科目に関する実務経験 保育士
授業の回数 15 回	時間数 (単位数) 30 時間 (2 単位)	配当学年・時期 1 年・前期	必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児保育の理念や現状、体制などの理解を深め、保育の方法や環境の構成等を学ぶ。 <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割等について理解する。 2. 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 4. 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。 <p>※「乳児保育」とは、3歳未満児を念頭においた保育を示す。</p> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児保育の実践力を習得する。 			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児の保育の記録と計画 2. 保育の計画① 3. 保育の計画② 4. 指導計画の作成における留意点と作成の実践 5. 乳児保育と子どもの発達・親の発達① 6. 乳児保育と子どもの発達・親の発達② 7. 乳児保育における保育士のあり方① 8. 乳児保育における保育士のあり方② 9. 乳児保育のあゆみ① 10. 乳児保育のあゆみ② 11. 保育所機能の多様化と一般化 12. 乳児保育の多様化するニーズ 13. 乳児保育の現状と課題① 14. 乳児保育の現状と課題② 15. 期末試験 			
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>改訂5版 乳児の保育新時代 (乳児保育研究会／ひとなる書房) 適宜、プリント等配布</p>			
<p>[成績評価の方法と基準]</p> <p>教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考查点 (75%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点 (25%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。 			